

## 登熟期～収穫期



8月10日の台風10号による強風で倒伏被害や擦れによる穗の黒褐色が散見されたほか、出穂期以降に猛暑が続いたため、「胴割粒」や「心白粒」、「白粒」が多く見受けられ、1等米比率低下の要因となりました。特に「めんこいな」においては「充実度不足」による下位等級が多く見られました。

刈り取り作業は高温の影響で登熟が早まり、例年より1週間ほど早い9月10日頃から始まりました。全体的な収量については平年並みとなりました。

## 次年度に向けた取り組み

### 高温障害対策(ケイ酸資材の使用)

気象変動に対応する土づくりは、作柄だけでなく、品質低下の対策となります。

ケイ酸は丈夫な茎や葉を作り、高温・低温時の障害を軽減し、いち病などの病害虫の被害や割れ粉発生と斑点米の被害を軽減します。また、光合成を促進し、登熟歩合の向上と千粒重の増加により収量や食味値に大きく影響します。

### カメムシ類対策

①ホタルイ類、カヤツリグサ、ノビ工の穂に産卵します。水田内の雑草が多いとカメムシ類の発生も多い傾向から、除草剤の選択及び散布時期、水管理、本田防除では出穂期以降2回防除の徹底が重要です。また、休耕田などの圃場がカメムシ類発生の原因とみられるケースが増えているので、最低限の圃場管理を実施してください。

②除草剤散布は代掻きからの逆算が重要となります。代掻き後に雑草が動き始めるため、初期剤は代掻きから10日以内に、一発除草剤のみであれば15日以内に散布できる作業体制に努めましょう。

### 安定収量確保

田植え作業は極端に早かつたり、遅かたりすると、その後の天候によっては大きく品質などに影響します。作業計画を立て、それに合わせて健苗を育成し、適期の田植えを行います。(県中央地区では5月20日～25日頃)



## 令和元年産 米集荷状況

### ○主食用米 集荷数量実績

(個人集荷数量へ施設受入重量60kg換算値を加えた数量)(単位:60kg/俵)

地区	出荷契約数量	集荷数量	進度率(%)
追分	38,041.5	38,907.1	102.3%
飯島	24,731.5	26,068.1	105.4%
秋田駅東	29,720.0	31,031.8	104.4%
御野場	24,193.0	24,542.0	101.4%
新屋駅前	15,751.0	16,671.0	105.8%
雄和	63,747.0	69,925.5	109.7%
河辺	36,730.5	38,461.8	104.7%
秋田地区計	232,914.5	245,607.3	105.4%
男鹿	39,732.5	35,644.5	89.7%
北浦	18,452.0	17,972.5	97.4%
天王	56,481.0	56,918.5	100.8%
若美	71,213.0	68,194.7	95.8%
男鹿地区計	185,878.5	178,730.2	96.2%
合計	418,793.0	424,337.5	101.3%

### 令和元年12月末現在

### ○2等以下の格落ち理由(うるち米及びもち米)

(単位:60kg/俵)

格落ち理由	数量	比率(%)
充実度	88,441.0	70.8%
カメムシ	26,869.5	21.5%
胴割粒	4,952.5	4.0%
心白粒	2,828.0	2.3%
青未熟粒	643.0	0.5%
もみ混入	566.0	0.5%
肌ずれ	305.0	0.2%
うるち玄米混入	128.5	0.1%
その他部分着色粒	61.5	0.0%
もち玄米混入	36.5	0.0%
異品種混入	30.0	0.0%
その他	15.0	0.0%
部分ヤケ米	10.0	0.0%
形質	10.0	0.0%

★今月のあなたの運勢 2020年2月★



牡牛座

(4.20～5.20) ちょっとした失言が大ごとになりそう。「沈黙は金」と心得、もめ事を回避して。味方は大勢いるので相談は早めに